

イベント



1. 全力卒論発表会

●目的

4年生の卒業研究内容を学科学年を問わず共有できる場を設けることで、下級生に卒業研究への取り組み方を知ってもらい、卒業研究に関する関心を高める。

●企画概要

徳島大学の4年生が、自身の取り組んできた卒業研究について、その内容や研究の過程で苦労したこと、達成感を感じたことなどを1人当たり約30分間で発表し、参加者との質疑応答を行う。

●実施場所：徳島大学附属図書館1Fラーニング・コモンズ

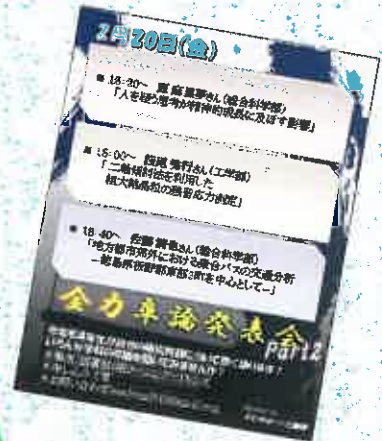
●開催日時：2015年2月20日（金）18:00~19:00

●発表者：4年生3名（総合科学部2名、工学部1名）

●参加人数：23名

●参加者の声(アンケートより)

- ・卒論に対する具体的なイメージがわいた。
- ・卒論について興味がわいた。
- ・他学科、他コースの人の話を聞いてよかった。



2. 先生のコバナシ～実は私こんなことをしているんです～

●目的

大学で行われている“研究”について、その内容、興味深いところ、先生の思いなどを知ること、大学における学習や研究に対する動機づけに役立てる。

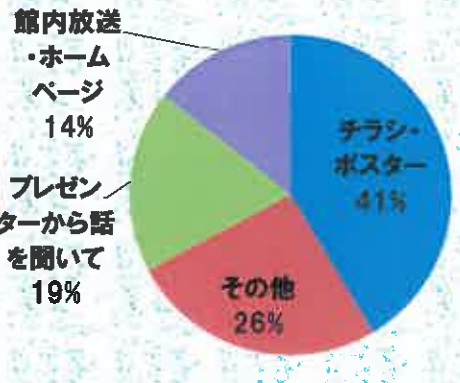
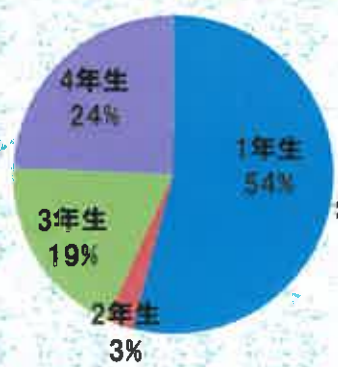
●企画概要

徳島大学の教員が日々行っている研究活動について、その研究内容、興味深い点、取り組む姿勢などを1人当たり約30分間で発表する。発表の仕方は指定しない（PPT発表、講演、座談会、フリートークなど）。主な対象者は徳島大学生であり、学生が研究に対して関心を持つきっかけをつくる。

●実施場所：徳島大学附属図書館1Fラーニング・コモンズ

●これまでの開催概要・実績

開催回	開催日数	プレゼンターの人数	参加者数
第1回 (2014.6-7)	5日間	8人	61人
第2回 (2015.1)	4日間	4人	63人
第3回 (2015.6-7)	6日間	6人	102人



●参加者の声(アンケートより)

- ・普段聞くことのできない話をうかがえてよかった。
- ・先生が熱心に語ってくださり、思いが伝わってきて楽しかった。
- ・先生が普段どんな研究をしているのかわかって楽しかった。

学びサポート企画部の今後の展望

課題

- ◆SSSの相談者数が減少している。(特に文系科目)
- ◆教員に比べて学生アドバイザーに対する相談者数が少ない。
- ◆イベントの参加者が少ない。

解決策

- ◆アンケートやアドバイザーからの意見を取り入れ、SSSをより相談しやすい環境にする。
- ◆初年次の学生のニーズに合うように、相談科目を再設定する
- ◆計画的かつ学内イベント等に合わせた効果的広報を行う。

今後の展望

先生のコバナシや、卒論発表会等のイベントを継続し、大学生の学習に対する興味・関心をそそるようなイベントを増やしたい。
また、学内で活発に活動を行っている学生が、他の学生に刺激を与えるような機会も設けたい。

